



### 中学校入学者決定に係る募集

12月5日(土)に沖縄県立球陽中学校入学者決定に係る適性検査が本校で行われました。球陽中学校は、球陽高等学校と併せて6ヶ年の計画的・継続的な教育が行われ、積極的に自分自身の可能性にチャレンジする人を募集しています。

1. 適性検査Ⅰ(算数・理科) 50分
2. 適性検査Ⅱ(国語・社会) 50分  
Ⅰ・Ⅱの両方とも、小学校の学習内容の定着度、課題発見・課題解決の力等について検査する。
3. 学校独自検査(算数) 30分  
数と計算、量と測定、図形、数量関係等の内容について検査する。
4. 志願理由書 15分  
入学を志願する理由、入学後の抱負、これまでの活動等について文章にまとめる。

受験生の皆さん、お疲れ様でした。1月7日までは、結果を通知いたします。

### 中学校生徒会役員選挙

11月27日(金)に中学校の生徒会役員選挙の立ち会い演説会並びに投票が行われました。

立候補者及び推薦人、みんなの前での素晴らしい演説でした。

生徒会長	2年	町田海夢
副会長	2年	喜友名礼士
副会長	2年	座喜味和香
書記	2年	豊見山優紀
書記	1年	衣山美空
庶務	1年	奥濱真光

以上が選挙で選出されました。中学校生徒会執行部のみなさん、これから頑張ってください。



### OIST SCORE! サイエンスで優勝!

SCORE!とは、県内高校生への体験型理科教育を発展させることと起業家精神に関心を持ってもらうことを意図するとともに、英語教育とグローバル人材の育成への取組みを支援するものとして、沖縄科学技術大学院大学(OIST)が主催するもので、「物理、化学、生物、地学、応用数学、工学、環境、農業関連の研究開発、コンピューター、情報通信技術及び再生可能エネルギー」今年度は、12月5日(土)にOISTで行われました。本校出場チームのうち「アフリカマイマイチーム」が見事優勝しました。

副賞は、アメリカ旅行です。おめでとうございます。



### アドラーの言葉

劣等感があるのは「あなたが劣っているから」なのか?

あなたが劣っているから劣等感があるのではない。どんなに優秀に見える人にも「劣等感」は存在する。目標がある限り、劣等感があるのは当然なのだ。

頭が良くて、見た目も良く、明るい人が、「実は『私は、なんてダメなんだ……』という強い劣等感に悩まされている。」と、いうことはよくあることです。

人は誰もが劣等感を持っています。なぜなら、人は自分では意識しないままに「こんな人になりたい。こんな人生を歩みたい」という目標を持っているからです。そして目標は常に現状よりも高く掲げられる。

たとえ周りから見て順風満帆で、もうこれ以上望むことなどないように見える人であっても、さらなる高い目標を持っているものです。つまり、いつまで経っても永遠に目標は未達成だったりします。だからこそ、そこに劣等感が生まれるのです。

また、人は子供のときに親や兄、姉と自分を比べることで劣等感を抱きます。「大人はあんなにやすやすといろいろなことをできるのに、自分は何もできない…」

そうやって子供の頃に大人に対して抱いた劣等感は、心に刻まれます。「自分は無力な存在だ」「どうせ頑張っても追いつけない……」。そして、その劣等感は自分自身が大人になってからも、引き続き残ってしまうのです。